

(様式2(1))

事業所名 グループホームまんでん加古川

作成日: 令和2年 8月 26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	家族アンケート結果でも外出について評価が低く、実際、職員・利用者状況と感染症の影響により外出支援ができていない。帰宅願望が強い利用者があるので、閉じ込められている感が増強しないように外へ出るための方法を考える必要がある。	利用者が屋外に出て気分転換ができる。	人員の充足と業務の見直しを平行して行い、利用者と余裕を持って関わることができる時間を作り出す。敷地内の散歩や植物の栽培等、利用者が楽しめて職員もサポートができることを具体的に考え、計画・実践していく。	6ヶ月
2	35	災害を想定した避難方法についてはシュミレーションを行っているが、普段の通勤経路が使えない場合の人員確保についてマニュアルが整備されていない。	職員連絡網とは別に緊急招集連絡網を作成し、職員一人一人が災害時に取るべき対処をイメージできる。	徒歩で通勤可能な近隣在住の職員に災害時の緊急招集体制の協力を得る。具体的な動き方をマニュアルに追加し、職員一人一人が理解できるようにする。	3ヶ月
3	8	権利擁護に関する制度について研修カリキュラムが整っていない。施設内でも制度について理解し、成年後見人と主に関わっているのが管理者他一部職員である。利用者を取り巻く環境を理解する上で、職員への周知が必要である。	職員が日常生活自立支援事業や成年後見制度について正しく理解し説明できる。	管理者が資料を作成し、会議の場を活用して研修を行う。実際の利用者のケースを用いて説明し、理解を促す。	2ヶ月
4	1	法人理念は簡潔明瞭でわかりやすいが、自分たちがどのようなグループホームを目指しているのかという文言は明確に示されていない。	グループホームまんでん加古川としての運営理念、目標をつくる。	どのようなグループホームを目指しているのか、そのためにどのような改善策や工夫を行うのか、会議にて職員とともに考える。職員の意見を取り入れた理念、目標とする。	6ヶ月
5	4	運営推進会議に近隣の地域密着型サービスの知見者が参加メンバーに入っていない。昨年度の運営推進会議にて第三者評価の結果報告ができていなかった。	近隣の地域密着型サービスの知見者の運営推進会議出席を実現する。運営推進会議にて第三者評価の結果報告を通じてグループホームの状況を伝える。	今年度は書面での開催が続いているが、次回10月に第三者評価の結果をまとめて報告する。地域密着型サービスの知見者の出席実現のために、他事業所との関係づくりに努める。	8ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。